

第13回日韓・在日キリスト教関係史研究会 「日本基督教朝鮮教団成立の過程」

後藤 聡 1991.3.2

この「日本基督教朝鮮教団」はもちろん知られてきた。(例えば「むくげ通信」53号信長正義氏が紹介) 関庚培「韓国キリスト教会史」には「ついに1945年7月19日、韓国にそれでもなお残存していた諸教派は、日本基督教朝鮮教団として完全に統合され」「発足は8月1日」「初代総督府より任命」された、と記されている。

ところで韓国では今新しい視点で「教会史」が書かれている。韓国基督教史研究会による「韓国基督教の歴史」がそれで現在Ⅰ、Ⅱが出版されている。(解放まで、Ⅲ刊行予定) この研究会はわが「韓キ研」の兄弟とも、父母とも呼ぶべき存在でその研究の成果が「韓国基督教史研究」としてもう30号以上出され、今「通史」を世に問うている。

さてその「歴史」Ⅱの中に「日本基督教朝鮮教団規則草案」というパンフレットの実物写真が掲載されている。2月に久しぶりに韓国を訪れることとなったので何とか見たいものと期待していた

が幸い韓国基督教史研究会の沈漢輔氏が「規則草案」のコピーを持っておられそれをまたコピーした。全体で約80ページ、施行細則なども加えられている。内容、構成とも1941年に成立した「日本基督教団」とほぼ同じで特に「教義の大意」は全く同じで、日本基督教団、文部省、総督府などの影響が強く働いたことがわかるが、日本基督教団側の資料を確認する必要がある。

ところでこの「草案」では「日本基督教朝鮮教団」の設立を1943年5月5、6日に新門内教会で、となっている。これは明らかに先に上げた日と異なっている。これを確認するため、当時の基督教新聞(ソウル・鄭仁果、牧師主筆)を見ることが出来る。1943年48、65号

43年5月に合同するつもりで耶蘇教長老会は教団設立の前に自分たちの総会を開催し合同決定するつもりであった。ところが手続き不備が言われ頓挫しかかったが、総督府が長老会が率先して教団となり規則を批准し「日本基督教朝鮮長老教団」とせよということとなる。「規則草案」は一旦まぼろしとなる。この結果朝鮮の教会が「日本的基督教」に組み込まれ解散、合同させられるのである。更に研究を深めたい。

一九九一年二月一七日「日」

藤井 幸之助

「中国延辺朝鮮族の中で」「スライド上映」

延辺大学で日本語を教えはじめて一年半がたった。ふりかえると長いようで短かった。今回の報告は、これまで撮りためた写真の中から選んでスライドにしたもの「ネガからスライドにするのは一枚百円で簡単にできる。」を見ていただいた。

民族運動史とは直接関係のないものがほとんどだが、かつて、数多くの抗日闘士を産み育てた延辺の現在の様子を断片ながら、街のスナックで見ていただけたのではないかと思う。

人々の暮らしに関連したものを多く映したが、当時と変らない部分もあるだろう。犬を食べる習慣も残っている。スライドでは、犬の解体から料理になるまでを詳しく映した。韓国では街角から犬料理屋が姿を消しつつあるというが、延辺ではまだまだ健在である。

「四つの現代化」の中で、街の風景は急速に変わりつつある。偽満州時代に日本人よって建てられたものも、日に日に姿を消していつている。しかし、一歩街を出ると、そこには藁屋根の家が点々と散らばり、機械をほとんど使わず、牛馬とともに農業を営む姿がある。田植えも稲刈りもすべて人手にたよる。

昔ながらの営みの中に、豆満江を越えて来た人々の苦勞がしのばれる。

九〇年代になって歴史の掘越しは随分進んだといえるが、その足跡を実際にたどってみることはまだ難しい。

一九一九年の三・一三反日独立デモ行進で日帝に殺された犠牲者の墓が龍井の南の郊外で発見されたのをきっかけに、「三・一三反日義士陵」と書かれた碑が仮に建てられた。予算の関係で木製だ。昨年五月のことである。実行委によると近い将来、石碑にかえて、きちんと整理し、反日運動を記念する公園にしたいという。

また、この地方ではどの村にも革命烈士之碑があるが、無言の語りかけを聞き取るのは難しい。青山里戦闘の跡には木の目印が一つあるだけだ。

史跡の掘り起こしという面では、まだまだ立ち遅れ手居るといえよう。今後、こういった方面の整備が進められるだろうが、私たちにできることはなんだろう。帰国まで後五か月。朝鮮族の歴史にまつわる場所や物を写して、帰国後、再度報告したい。

「写真説明」

龍井にある三・一三反日義士陵の合禱祭。

当日、延辺の各県から四〇名ほどが集った。

一九九〇年五月一九日 撮影。



研究会御案内

在日朝鮮人運動史研究会 第132回例会

日 時 1991年4月14日〔日〕午後2時

テーマ 「就職差別の歴史と現状」

報告者 梁 泰昊氏

朝鮮民族運動史研究会 第102回例会

日 時 1991年4月21日〔日〕午後2時

テーマ 「抗日連軍について」

報告者 森川 展昭氏

日、韓キリスト教関係史研究会 第14回例会

日 時 1991年4月27日〔土〕午後2時

テーマ 韓国キリスト教史

報告者 蔵田 雅彦氏、信長 正義氏

: 場所はいずれも青丘文庫にて

新図書案内

全国青年總同盟大會々録 [コピー]	朝鮮文化部 [資料第一輯]	
全国婦女 " " " ["]	" [資料第二輯]	
鄭 鑑録 [原本]	金 水仙	ソウル 明文堂 P 217
朝鮮族研究 記述 [二]	延辺大学民族研究所	延辺 延辺民族出版社
烽火 [中国朝鮮族歴史足跡 丛书 3]	中国朝鮮族歴史	" "
역사비평 제간 10호	역사문제연구소	
朝鮮文学選 [1] 解放前篇	李 丞玉・李 恢成	東京 三友社出版
4. 3 長征 3 [일천구백주십년 심광원 펴냄]	제주사삼연구소	
警察、公安關係雜誌の在日朝鮮人關係記事目録 [コピー]		
国会図書館憲政資料室所蔵 [大野緑一郎文書目録] コピー		
彝 傳	朴 章鉉	ソウル 中山全書刊行
Books from KOREA 1987		
對馬島宗家文書記録目録集	國史編纂委員會	京畿道 同会 P 511
조선중앙년감 [1987, 1988, 1989]	조선중앙통신사	평양 同社
日本 韓國侵略史料叢書 [33~42] 1867~1945	日本外務省陸海軍省	韓國出版文化
韓國獨立運動史料叢書 1~12 [三. 一運動篇]	日本陸軍省	韓國出版文化院
1930년대 민족해방운동론 연구① (국내 공산주의운동 자료편)	서울 새길	
한국공산주의 운동사 2 (1945~53)	한 홍구	서울 돌베개
" " 3 (북한 편)	" "	" "
1930년대 민족해방운동론 연구② (반국 항일무장투쟁 자료편)	" 새길	
獨立運動의 발자취 [滿州地方을 中心으로] 朴 永錫	ソウル 探求堂 P 238	
제4 [死] 서계의 신학 [在日同胞의 寬相] 申 暎子・金 顯球	ソウル 민살기획	
사회주의 대변형 혁신헌헌 50選 東亜日報社	ソウル どう社 P 386	
언더우드 - 한국에 온 첫 선교사	어터우드	서울 기독교문사
徐 載弼 과 韓國民主主義 玄 鐘敏	ソウル 大韓教科書株式會社	
그리스도교 와 겨레문화	한 명제	서울 기독교문사
한글성서 와 겨레문화	한 명제	" "
연변 40년 기사 (1949~1989)	연변당사학회	연변인민출판사
연변당사 사건과 인물	김동화・김철수	" "